

組み立てが簡単で美しい

# 鯉のぼりセット

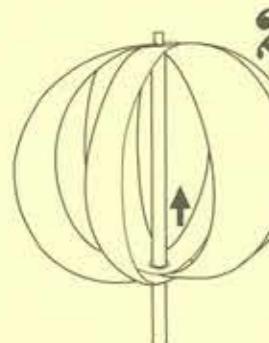
組立・使用説明書

H-01

## 部品明細

### 回転球の組立

1 ①の回転球を広げます。



2 左図の様な状態にして出来るだけ球形にして下さい。下側を上に押すと丸くなります。



3 右図の様に④回転球キャップ(金色)を、広げた回転球上部に差込み、各々の溝にはめ込みます。



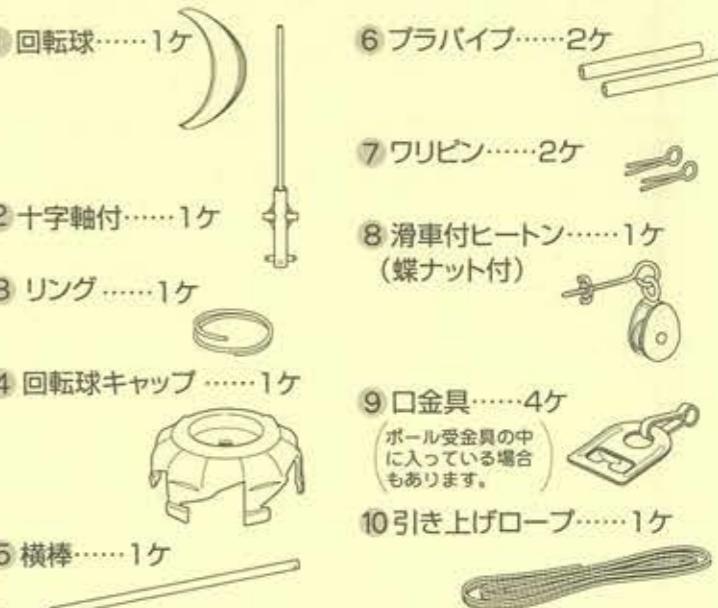
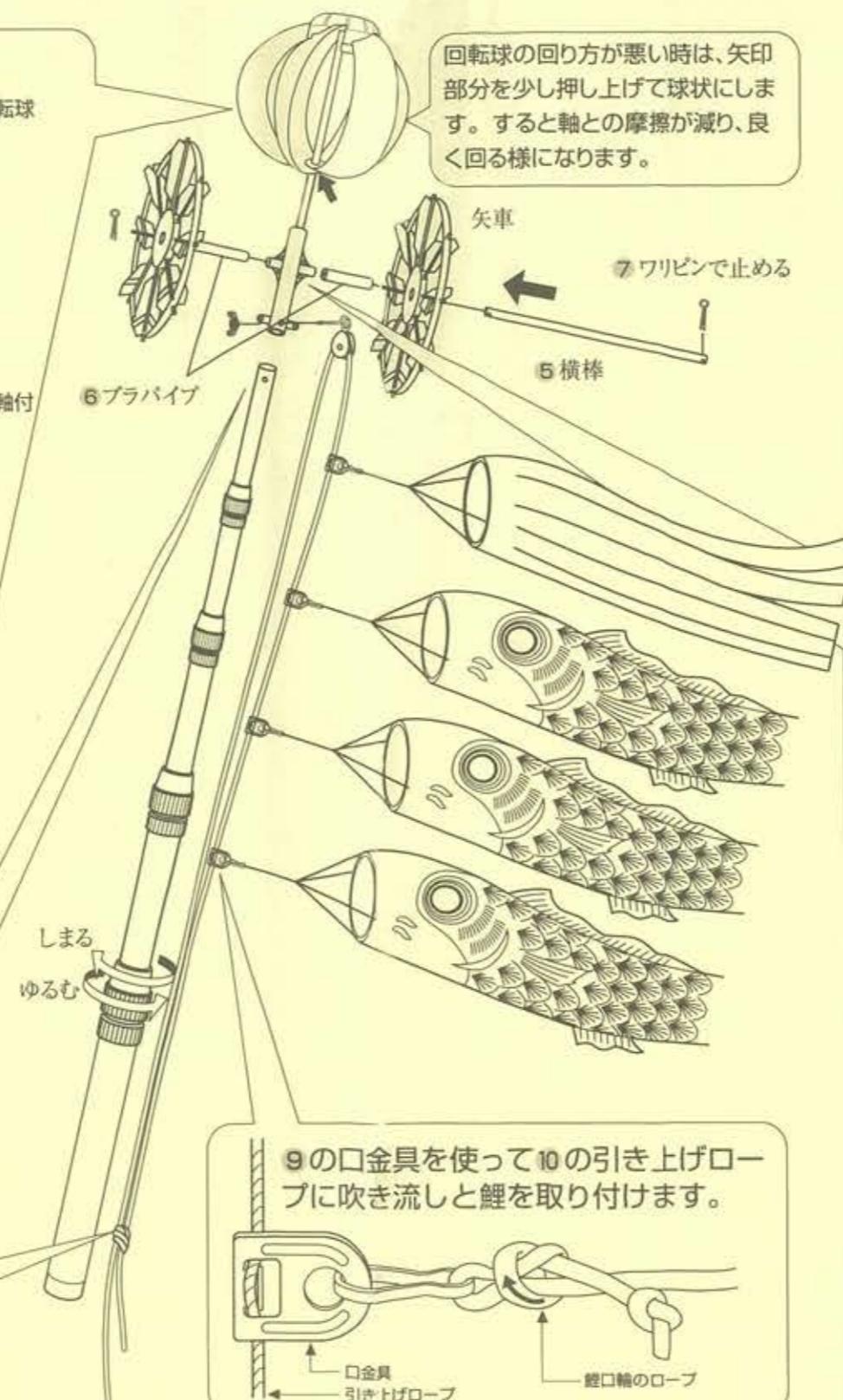
4 ③リングを軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。

ポールの先端から各段最後まで伸ばして締めて下さい。

図は5本継ぎのものですが、3本継ぎと4本継ぎのポールもあります。

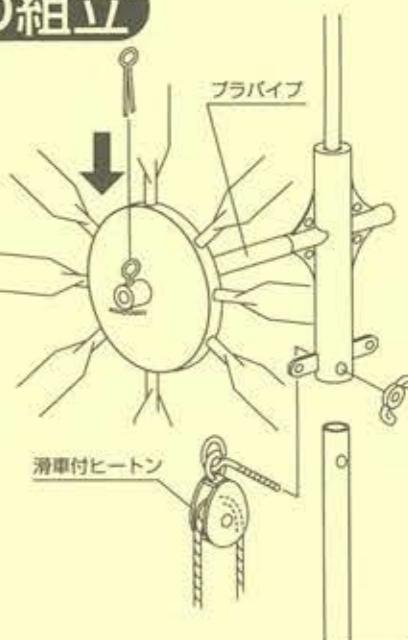
ロープの先を結びポール受金具又は手摺にしっかり結び付けて下さい。

※ポール受金具の組立は別紙をご参照下さい。



### 矢車部分の組立

5の横棒を②の十字軸付に差し込み、左右に⑥のブラパイプと矢車を入れて⑦のワリピンを差し込み曲げて固定します。



⑧の滑車付ヒートンで矢車部分とポールをつないで下さい。

ご注意 窓や屋上から外に突き出して鯉のぼりを立てられる時、電線に触れないよう充分ご注意下さい。  
シーズン終了後、回転球部分はできるだけ組立てたまま保存して下さい。

# A型取付金具取扱説明書

この取付金具を正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を良くお読み下さい。

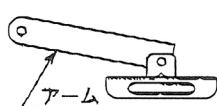
## 取付可能なベランダ

縦棟の太さ 直径又は一辺の長さが1.9cm以上3cm以内

縦棟の間隔（中心から中心まで） 12cmから13cm

### セットされている部品

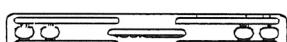
本体A 1ヶ



本体B 1ヶ



サポートバー 1本



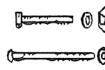
ポールホルダー



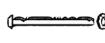
部品C 1ヶ

部品D 1ヶ

六角ネジ 2組

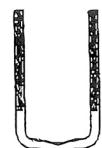


丸頭ネジ 2組



(内1組はポールと  
ボトム接続用です。)

Uボルト 4ヶ



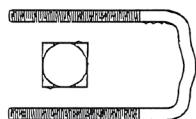
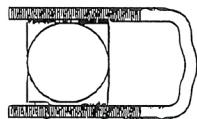
蝶ナット 9ヶ (1ヶは予備)



### ご使用上のご注意

- \* お子様の手のとどかないところで、上記の部品が全部揃っているかご確認ください。  
(小さな部品は、紛失しない様に十分御注意下さい。)
- \* 部品を落下させないで下さい。万が一部品を落下させてしまった場合を考え、階下の安全をご確認の上ご使用下さい。
- \* ベランダの形状により取り付けできない場合もありますので次のことを確認して下さい。  
(取付けできない場合は、販売店へ御相談下さい。)

1. ベランダの縦棟にUボルトをあてがいUボルトに入るか確認する。

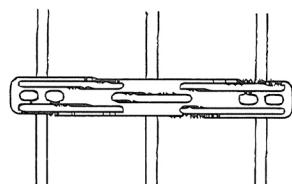


細い場合

縦棟に布・テープ等を巻いて下さい。

2. ベランダの棟にサポートバーをあてがい孔が合うか確認する。

イ.



縦棟の間隔が合わない場合

サポートバーを横にずらし、一方を

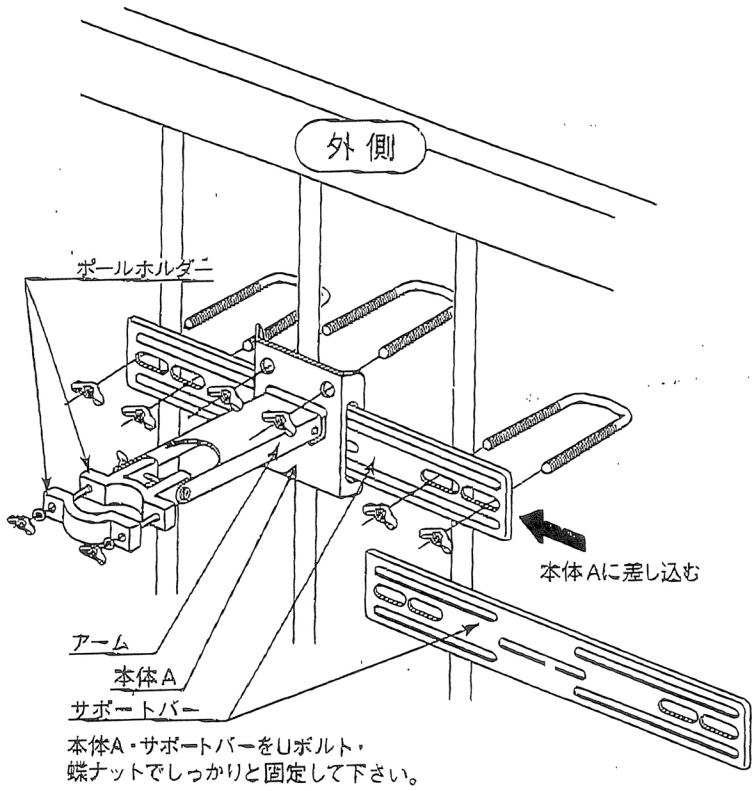
Uボルトで止めもう一方はハリガネ、ロープ等でしっかり固定するようお取り付け下さい。

## ご 使用 方法

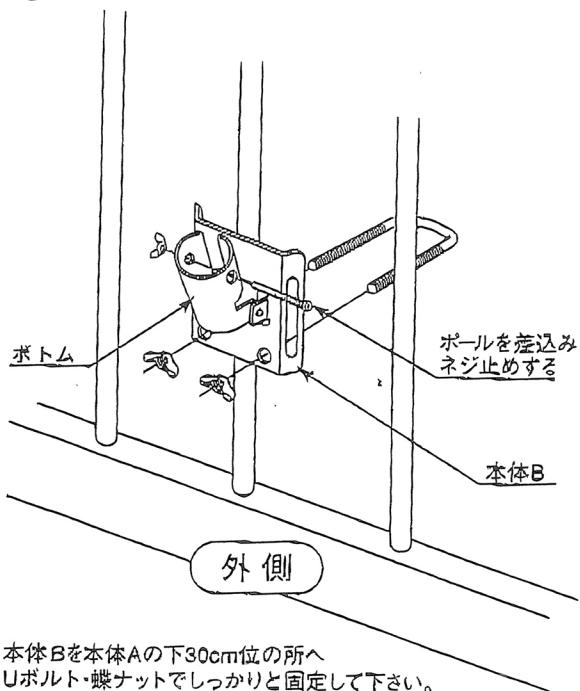


階下の安全をご確認の上、取り付けを始めて下さい。

- ① 初めに、ポールホルダー部品C・Dを六角ネジ2組で仮止めし、それを本体Aのアームに丸頭ネジ1組で仮止めして下さい。(下図参照)

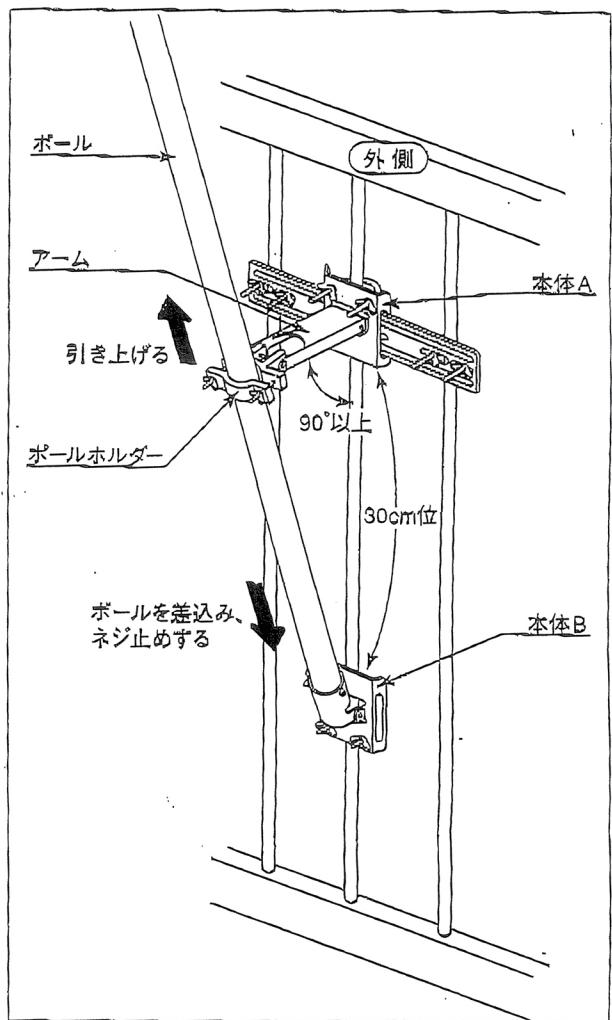


②



本体Bを本体Aの下30cm位の所へJボルト・蝶ナットでしっかりと固定して下さい。

③



矢車・滑車(又はリング)・ロープをセットしたポールをポールホルダー部品C・Dの間に通し、ボトムの奥まで差込んで下さい。

次に、ポールをボトムに丸頭ネジ1組でしっかりと固定し、その後、アームと縦棟の角度が90度以上になるまでポールホルダーを上方へずらし、ポールホルダー部のネジ3組をしっかりと締付けて下さい。

※ ポールホルダー部のネジの締付けが不十分ですとポールの落下及び金具の破損の原因となりますのでご注意下さい。

鯉のぼりのロープは、落下防止のため手摺等にしっかりと縛り付けて下さい。

各ネジ部等のゆるみ・損傷を一日一回必ず点検して下さい。

取付金具製造元 株式会社 三共

〒333-0832 埼玉県川口市神戸97番地  
TEL 048 (282) 5511